

花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドット相立てくてく4

国立市立第七小学校

平成28年9月2日 NO.38 (338)

モンタ博士「いよいよ2学期だけど、二人とも夏休みの宿題は、きちんと出したかな。」

花ちゃん 「もちろんですよ。わたしは、1学期の復習もばっちりでした。それに、たくさんさんの本を読んだし、漢字や計算もたくさんやったわ。」

モンタ博士「それはすばらしい。ところで、オー君は？」

オー君 「もちろん・・・といいたいけど、あとちょっと残っているんだ。今、大急ぎでやってるから、できたら先生に出します。」

モンタ博士「しっかりとがんばってくれたまえ。ところで、自由研究はどうしたのかな。」

オー君 「もちろんやりました。ぼくは、すごい研究をしたんだ。」

花ちゃん 「わたしもです。モンタ博士。今度、教室に見に来てください。」

モンタ博士「それは楽しみだね。必ず教室に行くからね。」

オー君 「ところで、モンタ博士も夏休みの自由研究をやったのですか。」

花ちゃん 「何をやったのですか。わたしたちに教えてください。」

モンタ博士「そうだね。モンタ博士は、今年の夏はあまりあちこちには行けなかっただけ、おうちの近くの山を歩いていて、大発見したんだ。下の写真を見てよ。」



オー君 「あれあれ？ まるいものが7つもあるよ。なんだろう。」

花ちゃん 「ネズミさんがいますね。何か関係あるのかな。」

オー君 「ネズミといっても、ぐりとぐらではないみたいだよ。」

花ちゃん 「ミッキーマウスやミニーマウスでもなさそうですね。」

チュウすけ 「えっへん！ おれ様は、ねずみのチュウすけだ。」

花ちゃん 「チュウすけ？ 聞いたことないわ。」

チュウすけ 「おれ様は、アカネズミのチュウすけ様だ。 雜木林や山などにいるネズミさ。」

オー君 「ところで、チュウすけさん！ まるいものはなんですか。」

チュウすけ 「よく聞いてくれたね。 この丸いものは、クルミだよ。 穴のところをよく見ると、おれ様がかじったあとも見えるぞ。 クルミはかたいけど、おれ様のじょうぶな歯にはかなわないのさ。 歯でかじってから、中のおいしいところをいたたくわけさ。 クルミはみんなも知ってるだろう。 うまいんだぞ。」

オー君 「そうだね。 くるみパンって、とってもおいしいよね。」

花ちゃん 「このクルミの中をぜんぶ食べたあとということですね。」

チュウすけ 「そうなんだ。 仲間といっしょに食べて、食べカスをおいといたら、モンタ博士とかいう人が持って行ってしまったというわけなんだ。」

モンタ博士 「勝手にもらってごめんね。 ネズミの生活の様子を、国立七小の子どもたちに知らせたくて、ちょっといただいたということなんだ。」

チュウすけ 「まあ、そういうことならいいけどよ。 まあ、
2学期も始まったことだし、しっかりと
お勉強するんだよ。 ところで、右の写真は
なんだ。 これはおいらが開けた穴ではないぞ。」

モンタ博士 「これはむずかしいね。 何だか分かるかな。」

キツツキ 「この穴は、わたしが開けたの。 口ばしでつつ
いて、中の幼虫をいただいたというわけよ。
→ の穴をよく見てください。」

